



## 2022年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年5月11日

上場会社名 株式会社ユーザーローカル 上場取引所 東  
 コード番号 3984 URL <https://www.userlocal.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 伊藤 将雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理部長 (氏名) 岩本 大輔 TEL 03 (6435) 2167  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第3四半期の業績 (2021年7月1日～2022年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第3四半期	1,952	29.1	813	19.7	811	19.9	560	33.0
2021年6月期第3四半期	1,512	25.0	680	28.2	677	35.0	421	33.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第3四半期	35.29	34.73
2021年6月期第3四半期	26.97	26.23

(注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第3四半期	5,896	5,319	90.2
2021年6月期	5,277	4,706	89.2

(参考) 自己資本 2022年6月期第3四半期 5,319百万円 2021年6月期 4,706百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年6月期	—	0.00	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。

### 3. 2022年6月期の業績予想 (2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,504	20.0	984	15.2	984	15.7	679	10.4	42.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年6月期3Q	16,009,900株	2021年6月期	15,885,600株
② 期末自己株式数	2022年6月期3Q	54,701株	2021年6月期	83,584株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年6月期3Q	15,882,755株	2021年6月期3Q	15,633,734株

(注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2021年7月1日から2022年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大や、ウクライナ情勢の影響を受け、国内外において依然として先行きは不透明な状況にあります。その一方で、業務効率化等のための「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の推進が社会的に強く意識されており、ビッグデータやAIの活用拡大とともに、当社の提供するサービスへのニーズや関心が高まっていくものと認識しております。

このような状況のもと、当社のコアプロダクトであるマーケティング支援サービス「User Insight」、「Social Insight」、人工知能を活用した顧客サポート業務の自動化サービス「Support Chatbot」の品質向上及び販売促進に注力してまいりました。

研究開発活動においては、ビッグデータ分析や人工知能の技術を用いてあらゆる課題を解決するため、主に①自社AIアルゴリズム拡充、②既存サービスへのAIアルゴリズム実装、③AIサービスの新規開発に重点的に取り組んでまいりました。特にAIサービスの新規開発では、新型コロナウイルスの感染拡大により顕在化した課題の解決に向けた商品開発も積極的に進めてまいりました。安定的な基幹システムの構築やデータサイエンティストの育成にも引き続き注力し、サービス品質のさらなる向上を図っております。

また、営業活動においては、サービスの販売を行う人員の育成を行うとともに、営業管理体制を強化することにより、事業拡大に向けた新規取引先の開拓等の販売促進活動に努めてまいりました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,952,714千円(前年同四半期比29.1%増)、営業利益813,814千円(前年同四半期比19.7%増)、経常利益811,595千円(前年同四半期比19.9%増)、四半期純利益560,539千円(前年同四半期比33.0%増)となりました。

なお、当社はデータクラウド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べて618,891千円増加し、5,896,170千円となりました。これは主に、投資有価証券の増加(前事業年度末比100,496千円の増加)、現金及び預金の増加(前事業年度末比483,161千円の増加)によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べて5,277千円増加し、576,535千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加(前事業年度末比16,680千円の増加)、前受金の減少(前事業年度末比20,493千円の減少)によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて613,613千円増加し、5,319,634千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前事業年度末比521,034千円の増加)によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の通期の業績予想につきましては、2021年8月10日に公表いたしました「2021年6月期決算短信」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,695,872	5,179,034
売掛金	129,090	158,221
前払費用	97,770	122,196
未収入金	17,037	-
その他	55	147
貸倒引当金	△452	△1,211
流動資産合計	4,939,373	5,458,388
固定資産		
有形固定資産	60,422	56,986
投資その他の資産	277,483	380,794
固定資産合計	337,905	437,781
資産合計	5,277,278	5,896,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
前受金	245,102	224,609
未払金	114,030	112,175
未払法人税等	144,511	161,191
その他	67,614	78,559
流動負債合計	571,258	576,535
負債合計	571,258	576,535
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,165,562	1,183,147
資本剰余金	1,186,821	1,216,591
利益剰余金	2,468,663	2,989,697
自己株式	△115,026	△69,802
株主資本合計	4,706,020	5,319,634
純資産合計	4,706,020	5,319,634
負債純資産合計	5,277,278	5,896,170

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,512,150	1,952,714
売上原価	141,158	147,478
売上総利益	1,370,991	1,805,236
販売費及び一般管理費	690,943	991,421
営業利益	680,048	813,814
営業外収益		
受取利息	44	54
その他	-	1
営業外収益合計	44	55
営業外費用		
株式報酬費用	2,953	2,254
その他	0	20
営業外費用合計	2,953	2,275
経常利益	677,139	811,595
特別損失		
固定資産除却損	-	1,492
特別損失合計	-	1,492
税引前四半期純利益	677,139	810,102
法人税、住民税及び事業税	263,496	270,470
法人税等調整額	△7,982	△20,907
法人税等合計	255,513	249,563
四半期純利益	421,625	560,539

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

この変更が、当第3四半期累計期間の売上高、売上原価、売上総利益、販売費及び一般管理費、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益並びに1株当たり情報に与える影響はありません。

なお、新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額がないため、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期会計期間において、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。